

「令和2年度がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」を開催

2021年2月26日

2月5日、2月12日、2月19日、2月26日の4回に渡り、共同利用・共同研究拠点事業の一環として「令和2年度がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」をオンライン開催しました。報告会は、平尾 敦 所長の開会の挨拶に始まり、今年度に当研究所との共同研究課題として採択された66研究課題の中から12課題の研究代表者12名による研究成果報告が行われました。報告会には、学内外の研究者並びに大学院生ら延267名（4回合計）が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催直前に中止となりましたが、今回は、オンライン開催を試みた結果、コロナ禍の制約の中であっても研究者間の交流を持つことができました。今回の成果報告会での交流が、今後のがん研究のさらなる発展につながることを期待されます。



開会挨拶 平尾 敦 所長



進行役 高橋 智聡 教授



報告1 香川大学 松田 陽子 教授



報告2 大阪大学 木戸屋 浩康 准教授



報告3 理化学研究所 関 孝介 専任研究員



報告4 東邦大学 仁科 隆史 助教



報告 5 東京女子医科大学 関谷 佐智子 助教



報告 6 がん研究会 礪山 翔 特任研究員



報告 7 藤田医科大学 下野 洋平 教授



報告 8 筑波大学 松坂 賢 教授



報告 9 和歌山県立医科大学 石田 裕子 准教授



報告 10 富山大学 周 越 助教



報告 11 京都大学 近藤 夏子 助教



報告 12 金沢大学 山下 克美 准教授

共同利用・共同研究拠点 研究成果報告会

日時 令和3年 2月5日(金)・12日(金)・19日(金)・26日(金)
いずれも14時開始

場所 オンライン開催
(Zoom)

【第1回成果報告会】2月5日(金)

14:00~14:05	開会のあいさつ	金沢大学がん進展制御研究所長 平尾 敦
共同研究成果報告1	座長：金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍制御研究分野 源 利成	
14:05~14:35	膵臓の発癌過程におけるテロメア異常	香川大学医学部 病理病態学・生体防御医学講座 腫瘍病理学 松田 陽子
共同研究成果報告2	座長：金沢大学がん進展制御研究所 遺伝子・染色体構築研究分野 平尾 敦	
14:40~15:10	血管新生阻害剤への治療抵抗性を生み出す腫瘍血管のダイナミズム	大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野 木戸屋 浩康
共同研究成果報告3	座長：金沢大学がん進展制御研究所 免疫炎症制御研究分野 須田 貴司	
15:15~15:45	パイロトーシス阻害剤の開発と作用機序解析	理化学研究所開拓研究本部 袖岡有機合成化学研究室 関関 孝介

【第2回成果報告会】2月12日(金)

共同研究成果報告4	座長：金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍遺伝学研究分野 大島 正伸	
14:00~14:30	Interleukin-11は、癌ならびに炎症関連線維芽細胞のマーカーであり、腫瘍形成を促進する因子である	東邦大学医学部医学科 生化学講座 病態生化学分野 仁科 隆史
共同研究成果報告5	座長：金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍動態制御研究分野 松本 邦夫	
14:35~15:05	組織工学技術を応用したin vitro がん転移モデル構築研究	東京女子医科大学先端生命医科学研究所 関谷 佐智子
共同研究成果報告6	座長：金沢大学がん進展制御研究所 機能ゲノミクス研究分野 鈴木 健之	
15:10~15:40	染色体転座陽性肉腫におけるPI3K阻害剤のアポトーシス誘導メカニズムの解析	がん研究会がん化学療法センター分子薬理部 礪山 翔

【第3回成果報告会】2月19日(金)

共同研究成果報告7	座長：金沢大学がん進展制御研究所 分子病態研究分野 後藤 典子	
14:00~14:30	脂肪細胞によるがん幹細胞性制御能の解析	藤田医科大学医学部生化学講座 下野 洋平
共同研究成果報告8	座長：金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍分子生物学研究分野 高橋 智聡	
14:35~15:05	脂肪酸伸長酵素ELOVL6の膀胱がんにおける役割	筑波大学医学医療系 松坂 賢
共同研究成果報告9	座長：金沢大学がん進展制御研究所 シグナル伝達研究分野 善岡 克次	
15:10~15:40	細胞性粘菌の分化誘導因子DIF-3は哺乳動物培養細胞のmTOR pathwayを阻害する	金沢大学医薬保健研究域薬学系 山下 克美

【第4回成果報告会】2月26日(金)

共同研究成果報告10	座長：金沢大学がん進展制御研究所 分子生体応答研究分野 向田 直史	
14:00~14:30	皮膚発がんにおける骨髄由来間葉系前駆細胞とケモカインの相互関係および病態生理学的役割解明	和歌山県立医科大学医学部法医学教室 石田 裕子
共同研究成果報告11	座長：金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科研究分野 矢野 聖二	
14:35~15:05	ストレス応答によるEphA2の非定型的活性化を介したがん細胞の遊走機構	富山大学学術研究部 薬学・和漢系 周 越
共同研究成果報告12	座長：金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍細胞生物学研究分野 平田 英周	
15:10~15:40	Glioma stem cell 標的型 Boron Neutron Capture Therapy 抵抗性の機序解明	京都大学複合原子力科学研究所 近藤 夏子

成果報告会参加申込サイト：http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/r2_seika/

左記URLまたは右のQRコードからサイトへ移動し、事前に参加お申し込みください。



■お問い合わせ先



金沢大学がん進展制御研究所
Cancer Research Institute Kanazawa University

〒920-1192 金沢市角間町
TEL.076-264-6702(代表) FAX.076-234-4527
URL <http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/>
E-mail: kyoten@adm.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

